

校長メッセージ

淑徳生に息づく、
「強さ」と「やさしさ」の
「淑徳魂」

愛知淑徳中学校・高等学校

校長 錦織 清邦



2025年6月18日、愛知淑徳学園創立120周年記念祝典・コンサートがNiteira日本特殊陶業市民会館フォレストホールにて行われ、卒業生でもあるゲストや名フィルの皆さまと、中高クラブ生徒によるコラボレーションの素晴らしい舞台が繰り広げられました。何よりも出演した生徒たち一人ひとりのひたむきな姿が印象的で、ともに舞台に立つゲストらは自らの中高時代と重ね、大先輩として生徒たちの模範となり、同じ舞台に立つ仲間として認め合い、互いに持てる力を最大限に引き出していく。その舞台を中高全校生徒と学園教職員、そして愛知淑徳を心から応援してくださる方々とともに共有することができ、琴線鳴り止まぬ最高潮の盛り上がりとなりました。互いを尊重し、高め合い、ともに飛躍する。愛知淑徳の伝統精神である「淑徳魂」を目の当たりにした感動の余韻が今も続いています。

創立者小林清作先生は「淑徳魂

とは何であるか、私は負けじ魂と思ふ」と述べられ、負けないで勝つための要素として「協同一致」と「真面目の真剣の練習」を挙げておられます。「協同一致は人心の和合である。和合にはどうしても、やさしい、美しい、温かい心がなくては、和合はできないのである。私心を挟めば、和合は必ず破れる。」「真面目の真剣の練習もまた、清い、うるわしい心でなくては、できないのである。練習には純真の心が必要だ。不純の心では、何程練習しても、必勝を期することが、できないのである。」

今でも淑徳生には、協同一致して困難に立ち向かう「強さ」と、仲間を思いやる「やさしさ」の「淑徳魂」が息づいています。淑徳の120年の歴史がそうであったように、これからも卒業生たちが「淑徳魂」に支えられて、未来に向かって翼を広げ、たくましく優雅に羽ばたいていくことを切に願っています。